

Press Release(R2/12/17)

岐阜大学教育学部附属小中学校にて

9年生（中学校3年生）と企業が「広告戦略」を議論します。

～学校、企業、消費者センター、大学のコラボレーション～

12月23日（水）に岐阜大学教育学部附属小中学校にて9年生（中学校3年生）を対象に、消費者教育を実践します。

今回のテーマは「広告」です。ハウス食品、ミツカンに Zoom で参加頂き、生徒が企業と共に広告のあり方について議論します。

通常、外部の方に参加頂く出前授業は「教えてもらう」講義・講演が中心でした。しかし、今回は企業と生徒が対等な立場で議論することを目的とし、生徒は、企業の社会的責任をどのように考え、自らを社会の経済活動へどのように位置づけるのか、消費者主権（主権者として消費活動を考え、実行する）をポイントに考えます。本授業には、消費生活相談員にも参加（対面）頂き、社会における企業・自身の役割と責任を議論します。

本授業は、当該学校の岸周吾教諭が実施し、アドバイザーを本学教育学部田中伸准教授（総務省主権者教育アドバイザー）がとめます。ついては、当日の取材についてよろしくをお願いします。

記

日 時 令和2年12月23日（水）

9年3組 10:35-12:25（ハウス食品との議論）

9年1組 13:25-15:15（ミツカンとの議論）

※対話先は異なりますが、授業内容は同じです。

会 場 岐阜大学教育学部附属小中学校（岐阜県岐阜市加納大手町 74 番地）

内 容 「企業と生徒が広告戦略を議論」を実施